

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	自立と社会参加をめざし、小中高一貫した、系統性のある教育課程の編成と、個別教育計画を活用した授業づくりを進める。	①個別教育計画を用いた教育システムを構築する。 ②キャリア教育の視点から一貫性・系統性のある教育課程を再編する。	①個別教育計画作成、実践、評価のための基準を作成する。 ②キャリア教育グランドデザインに基づき、日課表や学習内容等の見直しを行う。	①個別教育計画作成、実践、評価のための基準を作成できたか。 ②一貫性・系統性の視点での日課表や学習内容等の見直しはどのように行われたか。					
2 児童・生徒 指導・支援	児童生徒一人ひとりの個性や人権を尊重し、教育的ニーズに応じた的確な支援・指導を行う。	①校内支援チームの協働体制を確立する。 ②iPad等のICT機器を授業等で効果的に活用する。	①学部学年が、相談担当や専門職等から効果的な支援を受けられるよう、校内体制を整備する。 ②iPad等のICT機器を効果的に活用した授業や行事等を実施する。	①協働体制の確立はどのように行われ、どのような成果があったか。 ②iPad等のICT機器をどのように活用し、どのような効果があったか。					
3 進路指導・支援	将来、児童生徒が地域社会で豊かに生きる力を育むために、発達段階に応じた積極的な進路指導・支援を行う。	①作業学習や進路学習等において、発達段階に応じた学習内容の充実を図る。 ②進路や福祉制度等の情報を保護者に効果的に提供し、理解啓発を図る。	①卒後の生活を見据えた生活スキル、社会的スキル獲得のための指導を充実させる。 ②小中学部も含め、全校保護者を対象として、計画的に進路や福祉制度等の情報を提供する。	①生活スキル、社会的スキル獲得のための指導の充実とは、どのような内容であったか。 ②全校保護者に対し、計画的に進路や福祉制度等の情報提供ができたか。					
4 地域等との協働	共生社会の実現に向け、障害のある児童生徒の理解を進めるため、地域と連携した教育活動を推進する。	①ボランティア活用・養成の取組を充実させる。 ②本校の取組をわかりやすく地域等に発信し、特別支援教育の理解啓発を図る。	①ボランティア活用システムを円滑に稼働させるとともに、ボランティア養成に着手する。 ②ホームページを含めた情報発信の在り方を検証し、改善・充実を図る	①ボランティア活用システムは円滑に稼働したか。また、ボランティア養成計画を立案できたか。 ②本校の情報発信について、どのような改善・充実を行ったか。					
5 学校管理 学校運営	安全で安心な学校生活を支える取組を推進し、地域に信頼される学校づくりに取り組む。	①児童生徒の安全・安心につながる教育環境整備を行う。 ②災害対策に係る地域連携、地域支援の在り方を検討する。	①校舎の老朽化対策、安全点検、校内美化、校内UD化を推進する。 ②後援会や各種関係機関等と連携した防災・防犯体制を構築する。	①安全・安心につながる教育環境の整備は、どのように行われたか。 ②地域の状況に応じた防災・防犯体制をどのように構築したか。					